



グリーンズ千葉便り 第1号

—地球規模で考え、
活動は足元から—

グリーンズ千葉は「緑の党 Greens Japan」との連携組織です。

ともに、グローバル・グリーンズ憲章の6つの理念

1. エコロジカルな知恵
 2. 社会的公正・正義
 3. 参加民主主義
 4. 非暴力・平和
 5. 持続可能性
 6. 多様性の尊重
- に基づき、「緑の社会ビジョン」実現をめざします。

2013年参院選へ挑戦!

安倍政権は、市民の「いのちを守れ」!

2013年が明けました。東日本大震災と「福島第一原発」の過酷事故から間もなく2年、放射能汚染対策と脱原発・エネルギー政策からの転換が大きな課題となりました。

ところが12月の総選挙では、脱原発・エネルギー政策からの転換を否定する自民党が勝利し、安倍政権が誕生しました。安倍政権は、選挙公約で訴えた「日本を取り戻す」という「国家改造」計画をめざしています。



●市民のいのちが守れない!

原発政策では、原発ゼロ政策を全面的に見直し再稼働・核燃料サイクルの推進を表明したうえ、公然と核武装化の方向へ。経済政策では、大胆な金融緩和策と200兆円にも上る大型公共事業を計画、国家財政破たんへの道へ。「教育再生」を掲げて、戦争肯定の歴史観に基づいた教育政策の強行へ。「日米同盟」の再構築によって、沖縄の米軍基地固定化と沖縄県民の棄民政策へ。集団的自衛権と国防軍を認めて憲法9条の改憲へ。福祉政策では、生活保護要件を見直し、医療・介護の在り方をいわゆる「自己責任」体制に転換させ、貧困・格差社会をさらに拡大させようとしています。

●原発ゼロと9条改憲NOを大きな声に 7月参院選に初挑戦!

このように安倍政権が進める政策は、すべてが市民のいのちを脅かすこととなります。「緑の党 Greens Japan」と連携する私たちグリーンズ千葉は、何よりも一つひとつのいのちを優先する「緑の政治」の実現をめざしています。緑の政治とは対極にある安倍政権の政策は、評価できません。平和を脅かす9条改憲に反対する運動と、原発ゼロ・再稼働を認めない運動とを連携させながら、緑の党 Greens Japanは7月の参院選に初挑戦します。原発ゼロと非暴力・平和の外交政策によって、持続可能な社会をめざします。ご支援ください。

「緑の党」「緑の政治」をもっと詳しく知りたい方へ お勧めの本

「緑の政治ガイドブック」——公正で持続可能な社会をつくる

デレク・ウォール著 白井 和宏 訳 ちくま新書 ¥ 819



「緑の党キックオフ」結成特集号 「緑の党 Greens Japan」発行 ¥ 300

緑の政治をここ千葉からも

2012年10月27日「グリーンズ千葉」結成!

結成総会:松戸勤労会館、72名参加

2012年夏、「緑の党 Greens Japan」が日本に誕生しました。「緑の党」と連携しながら緑の政治を千葉から実現するために「グリーンズ千葉」が活動をスタートしました。結成総会では規約、活動方針、予算、役員について活発に議論されました。この千葉から緑の仲間を増やし、緑の想いを広げていきます。そして、私たちは2013年7月参議院選挙に挑戦します。さあ、あなたも私たちと一緒に!

- ☆議決の詳細をまとめた報告を、HPに掲載しております。
- ☆緑の政治・グローバルグリーンズ憲章 6つの理念、緑の社会ビジョンを実現する政治 (本紙タイトル右参照)
- ☆「緑の党 Greens Japan」については、<http://greens.gr.jp/>をご覧ください。

<スペシャルゲスト・加藤 登紀子さんより>

—千葉が直面する課題を、国政へ汲み上げてほしい—

今日ここに来て真っ先に、何かにまっすぐ向き合っている生きようとしている皆さんの表情に「緑」を感じました。すべてのことは「土」の中から生まれ、それが自ずと「木」になっていくんです。各地域での活動がいくつもアメリバ状に集まって渦巻きのようになくなっていき、そこに加わりたい人が1万人、2万人と増えていかないとけません。グリーンズ千葉の役割は、緑の党に対して「千葉のこの問題を解決するために、国でこれをやってほしい」という、人びとのありありとした声を汲み上げていくことではないかと。



房総半島は、今の日本のすべてを表しています。津波や原発の大きな痛手に、深刻な風評被害。グリーンズ千葉には、具体的な問題を1つずつ指摘し、提案していく集まりをぜひ重ねてほしい。例えば農作物の放射能値を測り「千葉基準」を設けて、安全な食品をきちっと出荷できる体制を取る。つまり千葉が首都圏にとって大事な食料基地なのだ、誇りを取り戻せるように。放射線から子どもたちをどう守るか、東京湾に流れ出た汚染土どう対応するかも緊急の課題ですね。

まだ出発点でしょうけれど、私たち千葉が置かれた立場、必要なことを早い形で訴えていって、他の人が「ああ、そうだ」「そうしてほしいのよ」と参加できるよう、社会に対する明確な要求を提示していきたく思います。

グリーンズ千葉 結成宣言

『千葉から緑の党を始めよう!』
 日本に「緑の党 Greens Japan」が誕生しました。世界の緑の党(グローバルグリーンズ)に励まされて日本の「緑の人々」に期待されて。2012年夏、ついに「緑の党 Greens Japan」の誕生です。「緑の党」の6つの理念

- ・ エコロジー
- ・ 社会的公正
- ・ 参加民主主義
- ・ 非暴力
- ・ 持続可能な社会
- ・ 多様性の尊重

私たちは千葉で実現をめざします。待ちに待った緑の党。日本の各地域で、緑の党の仲間たちが活動を始めました。活動は私たちの権利、主権は国民にある。日本国憲法は定めています。

入力の力は小さいけれど、小さい力が集まって大きな理念が実現します。

私たちは、千葉から活動を始めます。

3・11の福島原発事故は千葉にも放射能を降らせました。福島に原発を押しつけてきた千葉で、日本の原発ゼロをめざします。

東北に廃棄物を押しつけて、東京の廃棄物を押しつけられる千葉で、ごみゼロ社会をめざします。

温暖な気候と豊かな農・漁業の千葉で、地産地消をめざします。

千葉都民と言われる人々と、新しいふるさと千葉をめざします。

普通の人が参加して、普通の人で創る緑の政党です。政治を二世三世議員に任せたために、利権争いが続いています。

多数決より熟議、行政に頼らない、働く議会をつくりたい。

どの政党も嫌だからと投票にも行かない人たちに、選んでもらえる政党を。

利権も汚職も許さない、いつでもだれでも情報を得られる制度を。

政治を担う責任を、全員参加、みんなで分け合おう緑の社会を。

知恵と決意を持って緑の仲間が集まっています。

スロー・スモール・シンプル&スマイル

いじめ・虐待から戦争まで、あらゆる暴力を許さない社会へ。処理できないゴミと放射能を、だれにも押しつけない社会へ。だれかが笑うために、だれかが泣く社会は終わりにします。

勝ち負けはスポーツへ、勝つても負けてもみんな笑顔の社会をつくりたい。

地球に生きる全ての人々と生き物たちへ、持続可能な地球を護ります。

緑の党は地球を大切にします!

緑の党で日本を楽しくします!

緑の党に仲間をたくさん集めます!

緑の党を千葉から元気に始めます!



大海へ出航しま〜す!

会津 もと子 (成田市)
 自然を愛する市議会議員
 全ての命が尊重される社会。
 争いごとのために誰かが泣く
 ことのない社会。
 まずは足元から始めよう。

齋藤 健太 (八千代市)
 「福島市出身」×「ドイツ好き」÷2=
 「緑の党」という答え。緑の縁を大切に、
 地道に着実に地域再生を目指しましょう!
 (※放浪癖あり)

浅川 博之 (市川市)
 もうすぐ定年のサラリーマン。
 二人合わせて113歳の新婚2年目。
 家族のようなつながりが、みんなの
 つながりになっている社会になると
 いいな。

磯野 よう子 (流山市)
 子ども・人権関係NPOで活動して
 います。一人一人の意見で作りあげて
 いると実感できる社会にしたいです。
 社会問題や政治のこともタブーにせず
 本音で話し合える仲間が増えるといいな。

田中 正治 (鴨川市)
 半農半×ライフスタイル。コラボ
 (協働)とシェア(分かち合い)と
 自由な意見交換が出来る循環型の
 創造的なコミュニティーを
 造りながら、生きたい。

柘植 扶佐子 (松戸市)
 「成功の秘訣は続けること」。
 大海にこぎ出すボートのように
 頼り無いけれど「続け、つなげ、
 広げ」なければ!

S・M (野田市)
 私は年金生活者です。
 日本社会は政治的発言を
 タブー視するような面が
 あり、それを食べるべく
 機会を見つけて市政への
 市民参加を要望していま
 す。また仲間と自治基本
 条例を作るよう活動を
 しています。

武笠 紀子 (松戸市)
 還暦をすぎましたが、いろいろな
 緑っぽい活動をしています。みんな
 がイメージすれば『緑の社会』は
 きっと創れると思っています。

田口 房雄 (柏市)
 完全比例代表選挙の実施なく
 して、あるいは女性の過半数の
 議員なくして、世直し活動なん
 て有り得ない。それらの緊急性
 を国民に理解してもらうことに
 尽力したい。

藤森 弘 (船橋市)
 「虹と緑の星・地球」を守ることを
 天命と考えている50歳の「志士」。
 “千の葉”は多様性と緑の象徴。
 そんな「千葉」を第二の故郷に
 したいと思っている。

S・J (浦安市)
 現在の世代、子々孫々の世代、千葉、
 日本、そして世界中のすべての人のこ
 を考えたやさしい社会が究極の目標です。

真木 彩子 (大網白里市)
 テープライター。ぐるっとつながった
 社会を夢見て緑の活動に奔走しながら、
 友人の有機農業を手伝っています。
 機関紙か野菜か、気づけばいつも重い
 荷物を持ってウロウロする日々(笑)



三ツ橋 トキ子 (野田市)
 この1月に晴れて古希を迎えた
 頑固おばさんです。命よりも
 経済優先の社会は、まっぴらごめんだ!
 核戦争から、子どもを救えないような
 政治家には、お引取り願おう!
 さあ、今だからこそ、緑の党の出番だ!
 脱被ばく、即廃炉を、
 ホットスポットの地、ちばから!

中山 茂 (成田市)
 持続可能な社会をめざしている
 団塊の世代。せめて宇宙船地球号
 は、10年後は将来が見通せられる
 時代となっていたい。
 「GREENS千葉」では、その
 ような調査、検証をやりたい。

吉野 信次 (松戸市)
 緑の党やGREENS千葉を持続可能な
 政治組織にしていく道は、脱原発・エネル
 ギー政策の転換を柱に地域・自治体から
 再生可能な社会システムをつくる担い手
 になることだと思っています。

山田 武 (柏市)
 オンブズマン活動や原発反対の
 官邸前抗議活動等を行っています。
 大間原発工事を中止させ核燃サイ
 クルを止め、環境と人に優しい
 緑の理念が実現に近づくことを
 願っています。

〜運営委員の皆さんからの
 メッセージです〜

報告:学習会 森田県政4年を振り返る! (12/1、市川)

12月1日(土)、市川教育会館で、市民派の藤代政夫県議(鎌ヶ谷市選出)
 を招いて森田県政の4年を振り返る県政報告会が行われました。

お話を聞いてまず第1に挙げたいのが、堂本前知事のときに、あれほど丁寧
 に築いてきた県民とのコミュニケーションの場が完全になくなっているという印
 象です。堂本さんがつくった三番瀬の円卓会議はさまざまな利害関係者を漏
 らさず参加させ、毎回の会合は公開され、傍聴者も意見を述べることができま
 した。再生計画に反対する者も、賛成する者も同じ円卓会議に座らせて、根気
 よく合意をとっていったのです。ところが森田知事になって三番瀬プロジェクト
 は後退し、県民参加はなくなり、ラムサール条約についても前に進まなくなりました。
 タウンミーティングはなくなり、代わりにできた「住民説明会」では傍聴人が
 質問できなくなりました。県からの情報も極力出さないようになったとか。

これでは誰のための県政か分かりません。福島からの避難民の受け入れや
 放射能対策、再生可能エネルギーについて、県としての政策はまったくないとのこと。

代わりに出てきたのは、アクアラインの高速代値下げによって車の通行台数が2倍に
 なったとか、グレードアップナリタということでもカジノを含めた複合施設の計画や、リニア
 モーターカーで羽田と成田を結ぶ話など、
 一昔前の重厚長大型の経済政策です。



もっと問題なのは教育です。子どもの自立ではなく、社会に貢献する子どもを
 つくるために、キャリア教育や道徳教育を推進するとのこと。

経済も教育も一昔前に戻ったような時代錯誤な計画といった感じがします。
 緑の党が掲げる「スロースモールシンプル」もないし、脱原発もまったくない。
 もちろんジェンダーバランスもなく、反TPPどころか、TPP万歳!といった森田
 県政との感があります。皆さん、さらにもう一期、森田さんに託すとどうなるか、
 想像するとちょっと怖いですね。 (まぐ)

2月2日(土)「緑の党」参院選ガイドブックによる学習会

*時間: 16:00~19:00 *場所: 市川公民館 第一研修室 *講師: 陣内 直行さん
 ~参議院選挙はもうこの夏! 選挙活動のイロハから細かい疑問まで、確認し合ひましよう~

GREENSカフェ・なりた

「市民がお茶を飲みながら、出会い学び交流する場」として成田市に誕生したグループです。
 様々なゲストをお呼びして、自治体の電力政策や生物多様性等について勉強してきました。
 11月には「シェーナウの想い」(*)を上映。聴くだけ、観るだけでは終わらせず、参加者同
 士の意見交換や交流の時間も大切にしています。もちろん、市外にお住まいの方も大歓迎☆
 連絡先...090-6704-9996 smilemotosmile@yahoo.co.jp (会津)

(*) ドイツの小さな町「シェーナウ」の住人たちが、チェルノブイリ事故をきっかけに立ち
 上がり、自分たちで電力会社を立ち上げるまでの10年間を追ったドキュメンタリー映画。

GREENSカフェ・流山

1月11日(金) 17:00 市内カフェ予定
 「放射性焼却灰のゆくえ」勉強会
 詳細はお問合わせください
 090-2317-0898 (磯野)

GREENSカフェ・まつど

2月16日(土) 13:30 ほくとビル4F
 「ドイツの脱原発・エネルギー政策は
 どうなっているの?」
 ゲスト: 長谷川 平和さん(日独経済の
 架け橋としてエネルギー問題を中心に活動)

*こういったミニ集いを今後2~3月、各地で開催しますので、お問合わせください。

発行: GREENS千葉

271-0092 松戸市松戸1879-24 ほくとビル5F Tel/Fax 047-360-6064

HP <http://greenspartychiba.hatenablog.com/>

入会・カンパ募集中!!

年会費: 会員/3,000円 サポーター/1,000円 (郵便口座 00120-1-687008)

